

4月24日（火）麻生財務大臣 閣議後記者会見（冒頭発言）

福田次官につきましては先週4月18日に辞職の申し出がありましたので、これを認める旨を申し渡したところですが、本日の閣議において内閣の承認を得られたことから本日付で辞職させます。事務方のトップである事務次官ですので、自身のセクハラ疑惑等々によって辞職するような事態に至ったことは甚だ遺憾と思っております。福田次官の辞職を受けて本日付で矢野官房長に事務次官の事務代理を発令します。

セクハラ疑惑につきましては、セクハラは被害女性の尊厳や人権を侵害する行為なので決して許される話ではないということは、報道が事実だとすればセクハラに該当するという意味でアウト、これは最初から申し上げたとおりです。

この基本姿勢のもとで事実関係の解明を今進めてきているところですが、他方、本人が否定する中で週刊誌の報道のみをもって、いわゆる事実を認定して処分を行うことはいかがなものかということで報道各社にも協力をお願いしていたところ、先週4月19日にテレビ朝日から福田次官から女性社員へのセクハラ行為があったと判断したとして抗議文を頂戴したところであります。財務省としては早急に事実関係を解明して、その結果において福田次官への処分を行いたいと考えておりますので、テレビ朝日に対しても納得いただけるやり方で話をきちんと伺っていきたいというお願いをしてきたところです。

福田次官に対しましても今後とも調査へ協力すべきこと、今後の調査結果としては懲戒処分に相当すると判断された場合にはその処分に相当する金額を退職金から差し引くこと、そして当面、退職金の支払いは留保

すること等々を伝えておりました、本人も了解しているところであります。

さらに財務省が組織として今回の問題をきっかけとして今後どのように対処していくかという点も極めて重要な点だと考えておりますので、G20に出発する直前の4月19日の朝に局長クラスを大臣室に呼んでセクハラ・パワハラという話は決して許されない話であると改めて申し渡したところですが、このセクハラ・パワハラは許さないという組織文化を徹底していくために、まずは幹部職員を中心に集中的に研修を行う等々、さらに女性を初めとする職員の意見を丁寧に聞いた上でさらなる対策、方策を講じていくということなどが必要だと考えておりますので、今後早急に検討を進めて、実施に移してまいりたいと考えております。

以 上